



立春を過ぎましたが、まだまだ寒いですね

暦の上では、春へと季節は移っているようですが、実際にはとても寒い日が続いていますね。先週の土曜日には、名古屋でも雪が観測されました。朝、ベランダに積もった雪を見た子どもたちからはきっと驚きの声が聞かれたことでしょう。まだまだ寒い日は続きそうです。

さて、こういう時期だからこそ、体調管理にも気を付けてほしいと思います。冷たいからといって手洗いをしなかったり、咳が出ているのにマスクをしなかったりする子もいるようですが、人にうつしても、うつされてもいけないので、しっかりと対策はしていきましょうね!



【3月の学校行事予定】

月	火	水	木	金

ありがとう集会を行いました

2月10日(月) 普段お世話になっている学区の方々をお呼びして、感謝の気持ちを伝える集会を行いました。お呼びした方々からは、「挨拶をしていこうね」や「PTA活動ではこんなことやったよ」、「走らず交通ルールを守って登下校してね」などのお話を頂きました。安全・快適に学校生活を送れているのは、こういった地域の方々のおかげでもあることやその方々に感謝の気持ちを伝えられるとよいことを改めて考えることができました。



N1 グランプリから見たもの

1月29日(水)、子どもたちが楽しみにしていた長縄大会(N1グランプリ)が行われました。登校するとすぐに運動場に出て、練習を始める子どもたち。本番前の練習にも熱がこもります。いざ、本番が始まるとそこには様々なドラマがありました。実はこの行事を通して、子どもたちの主体性を育むために以下の取り組みを行っていました。その一部を紹介します。

- 目標回数を児童が設定する
- いつ練習するのか、どのくらい練習するのか、どんな練習をするのかを児童が決める
- プレ大会を行うことで、達成状況を確認させ、目標を再設定させる場面をつくる
- ペア学年賞を設けることで、ペア学年の記録を伸ばすために何ができるかを考えさせる

もちろん、学年によってできる範囲は異なります。しかし、どの担任も一歩引いたり、前に出たりとクラスの子どもの様子を見ながら、子どもたちがどんな力を伸ばそうとしているのかをしっかりと見つめていました。

本番では、練習の成果を発揮し、最高記録を出し優勝できたクラス、練習ではうまくいっていたのに、緊張のあまりうまくいかず、悔しい思いをしたクラスがありました。競技なのでどうしても結果は出てしまいます。しかし、教師が言わなくても自ら動き出した子どもたちの姿からは、未来につながる大切なものが見とれました。大会の振り返りを記述させると、子どもたちの心の中に、勝ち負けを超えた大切なものが見えたのだとうれしくなりました。

① 人が上手くてもたぶんはとやないでも4-1のみんなてみんなを支え合い協力しあう助け合う事でチームの仲を深め、チーム全員でがんばることが大切だと、N1を通して学んだ。

野田小学校の避難訓練

子どもの頃の避難訓練を思い出してください。放送が流れ、机の中に身を隠し、運動場に避難をする。どの方もこのような経験があるのではないのでしょうか？

しかし、阪神・淡路、東日本と大きな地震を経験し、もっと現実に近い訓練を行った方が児童にとっても、職員にとっても大切なのではないかと考え、いつもと違った避難訓練を行いました。

<従来型の避難訓練>

- ・いつ訓練をするのか知っている
- ・地震速報がなり、机の中に隠れる
- ・運動場に避難をする



<野田小学校の避難訓練>

- ・いつ訓練をするのかを児童・職員も知らない
- ・休み時間で担任が児童の人数を把握しづらい場面に行う
- ・避難中に再度、地震速報がなり、身を守る必要性に迫られる
- ・人数確認をすると全員がそろっていない学級がある
- ・いない児童がどこにいるかを探す場面がある

有事の際に求められるのは、適切な判断力です。現実の場面では、極度の緊張下で「こうなったら?」、「こういう場面では?」と次々に判断を求められます。そんな場面でも適切に対応できるよう、安全な状況下で経験を積み重ねることが大事だと考えています。

今回、避難途中で再度地震速報が流れた時に歩みをとめ、身を守る姿勢をとれた児童や、近くの教室に避難できた児童は少なかったことが分かりました。どうしたら良いのか分からなかったそうです。これこそ学びのチャンス。訓練後、担任と共に、早速対応の仕方をアップデートしていたようです。